

## 1. 研究動機

写真を撮る事やそれを加工することが好きで自分の思う通りのデザインや仕様などが使えたらもっと楽しいだろうなと思ったので、android アプリを制作しました。カメラアプリを制作している中でペイントアプリも制作しました。

## 2. 開発環境

## •Eclipse

統合開発環境の一つ。Java で記述する。

## •Android AVD Manager(仮想)

Android 仮想デバイス (AVD、Android Virtual Device) と呼ばれる仮想の端末環境

## •Nexus7(実機)

Google Nexus のブランドで販売されている Android タブレット。

## 3. 作業工程

四月～六月

Eclipse の使い方を勉強し簡単なアプリの作成

七月～九月

カメラの起動処理について

十月～十二月

AR(拡張現実)機能・ペイント機能

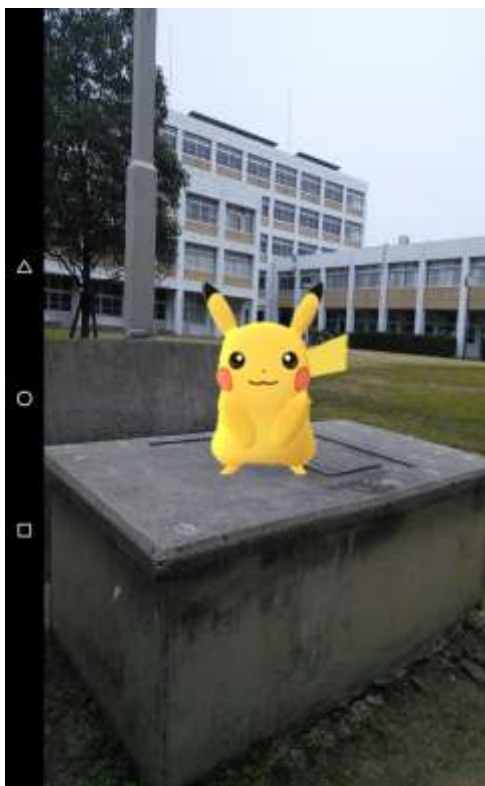
一月

アプリのデザインなどの調整

## 4. アプリの内容

- 写ルンです。(カメラアプリ)

アプリを起動すると画面に表示されるキャラクターと写ることができる。(AR)



- ・すいすいおえかき (ペイントアプリ)

タイトル画面から2種類のペイントの種類を選択しおえかきができる。



## 5. 感想

これまでに Eclipse や Java 言語を使ったことがなく初めてのことで苦勞しました。四月から頑張ってきて自分が満足できるような仕上がりになった時は達成感があり、今まで諦めずに取り組んできて良かったと思いました。

うまくいかなかったり、思い通りにできなったりして投げ出したくなる時もあったが、しっかり完成まで導けてよかった。普段使っているアプリがどれだけすごいかがよく分かった。